

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ルナ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学校での支援や家庭での支援を継続できるよう情報の共有、アセスメントをしている	・保護者様や先生からの聞き取りの実施 ・情報共有	・保護者様からも意見が出しやすい環境作り
2	・利用児童の特性に合わせた関りを大切にしながら支援が画一化されないようにしている	・個々の特性の把握 ・情報共有ツールの利用	・スタッフ間で情報交換を密にし、保護者様や関係施設から得た情報を基に利用児童の状況理解を深めていく
3	・遠足などのイベントが多い	・企画会議を活性化させ、提案されたアイデアはなるべく取り入れ実現できるよう検討している ・保護者様との信頼関係が構築できる関わりを持つ	・反省会にてフィードバックを行い次回への課題を明確にする ・スタッフ間での情報共有を図る

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発達段階に合わせた関りが難しい (放課後デイの児童が少ない)	・経験のあるスタッフが不足している	・勉強会研修への参加
2	・PT、OT、STが少ない	・病院や施設が主な就労先である職種なため、業務内容などに不安があるのではないか ・小児リハビリや重症心身障害児へのリハビリ経験のある人が少ない	・定期的な情報発信と募集の継続
3	・地域交流が少ない	・保護者様のニーズが明確化していないため方向性が定まらない	・保護者様への聞き取りの実施 ・地域イベントへの参加 ・他施設との交流の検討

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 放課後等デイサービス ルナ

公表日 令和 7 年 4 月 30 日

利用児童数 2名

回収数 2名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1				利用時間等の都合もあり、活動機会は設けておりません。今後、ご要望があれば検討させていただきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1				研修の充実を図り、支援者の育成に努めたいと考えています。研修会等の情報があれば提供させていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1				年に2回程、家族参加型のイベントを企画して、保護者様同士で交流を図って頂ける機会を設けています。イベントにはご兄弟も参加可能です。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1				各相談窓口に関して契約書内に明記しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1				年に2回、地震や火災を想定した避難訓練を行っていますが、午後からの利用児童は参加できていない事もあるので、訓練回数を増やす等して参加できるように工夫したいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス ルナ		公表日		令和 7 年 4 月 30 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	法令で規定されているスペースの確保はできているが、利用人数や活動内容によっては狭く感じる事があるので活動内容を分けたり、場所を分散させるなどの工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	人員配置の基準は満たしている。活動内容によって増員するなどして、安全面を考慮しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	日々の清掃・消毒はしている。マットや目隠しボードをで区切るなど、落ち着ける環境づくりに努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		重症心身障害児対象のため、個別の部屋の利用には対応していない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	毎月会議を行い、目標に対しての振り返りを行っている。議事録を作成し情報共有もしている。毎朝朝礼を行い、前日までの様子や当日の活動目標を決め支援にあたっています。	出勤時間にバラつきがあるため、朝礼に参加できなかった職員への周知方法を検討する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	年1回、保護者の方々に自己評価表の実施を行っている。また、モニタリングの際に保護者から意見等をいただき改善が必要な内容に関しては事業所内で話し合う事としている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	日々の業務で感じた疑問や悩みを相談しやすいように工夫をしている。	職員会議などで、意見を言える場を設ける等を検討する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	第三者による外部評価は行っていない。相談支援専門員に行事に参加してもらおう等して、風通しの良い環境作りに努めている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	4月から研修の年間計画をたて、全員が受講できる環境を整えました。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	ホームページでも公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	契約時にアセスメントシートをご記入して頂き、半年毎に評価・見直しをしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	本人支援・家族支援・移行支援・移動支援の項目を設け、必要な支援目標と支援内容を設定しています。	HUGまたは個人ファイルにて支援計画は確認できるようにしてあるが、職員への周知がされていないかった。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	保育士が中心となり月案をたて、活動のねらいや目標設定を明確にしている。似たような活動でも児童によって内容を変える工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	年齢や発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせる工夫をしているが、現状、放課後デイの対象児童が少なく、個別活動が中心になってしまっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援終了の時間帯は常勤者のみになっているが、その日の振り返りと情報共有をおこなっている。	パート職員との情報共有の方法を確立できるように検討します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	日々の記録を毎日残し、その日の状況が分かるようにしている。	一人一人が記録の必要性を理解し、支援の検証や改善につながる記録スキルを身に付ける必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	3	利用時間等の問題もあり、地域交流の機会の提供は困難な状況。可能な限り支援計画に組み込めるように検討はしたい。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	3			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	管理者または自発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	情報提供書などを通して主治医と連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	学校の年間計画や行事予定の情報共有は学校と直接のやり取りはしておらず、ご両親からの情報提供にて調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	他の事業所からのご利用の場合は、情報共有させて頂けるよう働きかけをしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		今後、対象児童が移行する場合には必要に応じて情報共有して行きたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	6		今年から研修制度の充実を図る取り組みを開始しました。今後の研修内に取り入れる事も検討したいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		利用時間の事情もあり、戸外遊び等の活動が少ないため、今後活動機会を増やし交流の機会が持てるように検討したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	6		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	6			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		研修の充実を図り支援者の育成に努める必要がある。研修情報などがあれば、ご家族に伝えるようにしていきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	6			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	6			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	3	年に2回程度、家族参加型のイベントを企画して保護者同士で交流を図って頂けるように機会を設けています。ご兄弟にも参加して頂くことができます。		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	HPやインスタグラムを活用して、定期的に活動内容を発信しています。連絡体制はHUGを活用しています。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6			現状では地域住民の方々を招待する等の企画予定はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	一部マニュアルに関しては、契約時に冊子をお渡しし口頭にて説明を行っています。	各マニュアルに関しては、いつでも閲覧可能であることを周知する。訓練に関しては、全てにおいて出来る訳ではないので全員で話し合いを持って決めて行けたらと考えています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	契約時に食物アレルギーの有無に関しては把握している。給食の提供はしておらず、持参のお弁当とおやつで対応しており、クッキングで作った物も自宅に持ち帰りご家族の判断で提供して頂く工夫をしている。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成して、HPIに公開する準備をしています。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	4月から研修の年間計画をたて、全員が受講できる環境を整えました。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	現在、身体拘束を必要とする児童の利用はありませんが、必要時はマニュアルに沿って説明と同意を得て行う事としています。			